

寄附講義レポート⑦

記：渡邊

1. 実施日： 2023年11月30日(木)

2. 講師： 柿木 一宏さん(38期) 東京海上日動火災保険株式会社

3. アジェンダ：

①自己紹介 ②わたしの就職活動 ③わたしの仕事④わたしの夢⑤ワークショップ
⑥休憩⑦ワークショップ⑧レポート⑨クロージング

①自己紹介

柿木様は和歌山出身で、大学時代はバスケット部。何しろ「おもしろいこと思考」とのことです。今は学生起業家7名との読書勉強会なども行っているそうです。

今回68期の東京中央支店の田村大輝様もご紹介頂きました。

②わたしの就職活動

車が好きで、大手自動車メーカーの内定を頂いていたが、和大大OBのリクルーターに「カルチャーフィット」して東京海上へ入社を決意されたとのことでした。

③わたしの仕事

日本の損害保険の始まりは、福沢諭吉の国益の考えに基づき、海運の事故などの補償が始まりで、日本で初めて1879年に東京海上が生まれました。新しい事業のリスクを取って行く仕事(社会課題の解決に貢献)とのこと、社会のインフラのインフラの使命があるとのこと。様々なリスクや海外ビジネスの拡大をご紹介いただきました。バブル時代の入社で不安のスタートとのことでしたが、ある会社のハワイへの社員褒章旅行の提案と成約をきっかけに仕事の楽しさを知り、躍進されたそうです。キャリアではいろいろなターニングポイントがあることも教えて頂きました。

④わたしの夢

保険会社から「幸せイノベーション企業」として、社会課題解決へ挑戦されることが夢で、事故で障がいを負われた家族への補償後のサポートから九州での防災減災の取り組みや和歌山でのGXの取り組みも紹介頂きました。

社会課題解決の興味として「全ての子供が幸せに暮らせる世界」「障がいのある方も幸せに暮らせる世界」をMy Aspirationとされているとのことでした。

⑤⑥⑦ワークショップ

和歌山県へ訪れる外国人増加に向けた新規ビジネスの創造としてアイデア出しと東京海上グループがそのアイデアにどのように貢献できるかを提案して発表を頂きました。進行は田村様が行ってくれました。

⑧レポート

(1)あなたが解決したい「和歌山県における社会課題」はなんですか

(2)(1)の課題解決に向けて、あなたならどう取り組みますか

⑨クロージング

まずは、二人一組で、「イエス・アンド・トーク」と「イエス・バット・トーク」をしてもらい、シリコンバレーでも実践している「イエス・アンド」のトークが大切なことを体験で教えてくださいました。その後、3点のメッセージで講義は終了しました。

(1)課題を解決する力より、何が課題かを見つける力が大切。好奇心を持って、気づきとコンタクトするアクションをとる。

(2)AIが進んでいて答えはすぐに出る時代です。新しい課題を見つけるには人と人の仕事ばかりでないつながりが大切です。ギブギブテイクの仲間関係が重要。

(3)和歌山大学は海と山が見えてシリコンバレーのような環境です。「木」がイノベーションには重要とのこと。この環境を生かしての「知と知の交流」を提唱いただきました。

4. 感想

寄附講義の目標を完成いただけた、素晴らしい講義内容で感動しました。

特に、「5打数3安打より20打数5安打」(失敗はいい)「カルチャーフィット」「コネクティブドット」(経験が生きる)「Must・Can・Will」(仕事の順番)「考え抜く」(思考が一段上がる体験)「社会課題解決」「和歌山大学はシリコンバレーのような環境」「課題を見つける力」「良い人脈をつくる」という言葉がキーワードでした。学生も真摯に学んで、何か掴んだと思います。到達目標はクリアできたと思います。

アクティブラーニングでは、アニメを切り口としたレンタサイクル事業や、白浜空港を起点にした和歌山回遊や和歌山環状線構想などの発表があり、東京海上日動様の貢献についてもしっかり考えられていました。ディスカッションは白熱していました。

質疑応答では、QRコードでの無記名の質問と挙手を交えての進行と回答は充実していました。失敗談も披露いただき学生も安心したと思います。

【渡邊】

・中期経営計画にある「社会課題解決」に関連して「当社の社会課題解決と成長の軌跡」が保険業界の発展並びに貴社の143年の歴史を知る上で大変勉強になりました。

・長く働き続けるためにはいい仲間、人のつながりなどの「Culture Fit」が重要、社風の素晴らしさを感じました。

・長い間のキャリアから「仕事を通じての気づき・学び」、「現在の興味領域」、「和歌山県ための貢献」へと夢に向かって昇華されている姿がよく理解できました。

・ワークショップのテーマとレポートテーマが共に和歌山県に関係することで学生にとっても私にとっても身近なテーマであり、また、深く考えさせられるテーマでした。学生のディスカッションも活発だったと思いますし、私自身和歌山県の活性化を考えるいい機会でし

た。

・「メッセージ」として「笑いながらの会議」、「考え方の違う人との会話」、「ディスカッションの手法」等、学生の真剣に聞きいている様子が印象的で、「職業観の醸成」にも役立ったと思います。

・最後に「和歌山大学はシリコンバレーの環境」というのも良かったです。海、山、木があり、環境をうまく活かしながら文化を創造して欲しいと思います。

【峰平】

柿木様、社員の皆様ありがとうございました。

【自己紹介】



【講義風景】





【質疑応答にQRコードからも質問可】



【ワークショップの様子】

